

# Heb

## Chapter 7

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 Οὔτος γὰρ ὁ Μελχισέδεκ, βασιλεὺς Σαλήμ, ἱερεὺς τοῦ Θεοῦ τοῦ  
この なぜなら その メルキゼデクは 王であり サレムの 祭司である その 神の その  
[G3778](#) [G1063](#) [G3588](#) [G3198](#) [G0935](#) [G4532](#) [G2409](#) [G3588](#) [G2316](#) [G3588](#)
- Ἵψίστου, ὁ συναντήσας Ἀβραὰμ ὑποστρέφοντι ἀπὸ τῆς κοπῆς τῶν  
いと高き その 出迎えた アブラハムが 帰る-ときに ~から その 打ち-破った その  
[G5310](#) [G3588](#) [G4876](#) [G0011](#) [G5290](#) [G0575](#) [G3588](#) [G2871](#) [G3588](#)
- βασιλέων, καὶ εὐλογήσας αὐτόν;  
王たちを そして 祝福した 彼を  
[G0935](#) [G2532](#) [G2127](#) [G0846](#)

このメルキゼデクはサレムの王であり、いと高き神の祭司であったが、王たちを撃破して帰るアブラハムを迎えて祝福し、

- 2 ᾧ καὶ δεκάτην ἀπὸ πάντων ἐμέρισεν Ἀβραάμ. πρῶτον μὲν  
その方に また 十分の一を ~から すべてから 分け与えた アブラハムは 第一に 一方で  
[G3739](#) [G2532](#) [G1181](#) [G0575](#) [G3956](#) [G3307](#) [G0011](#) [G4412](#) [G3303](#)
- ἐρμηνευόμενος, βασιλεὺς δικαιοσύνης, ἔπειτα δὲ καὶ, βασιλεὺς Σαλήμ, ὃ  
解釈すれば 王である 義の 次に また また 王である サレムの それは  
[G2059](#) [G0935](#) [G1343](#) [G1899](#) [G1161](#) [G2532](#) [G0935](#) [G4532](#) [G3739](#)
- ἐστὶν βασιλεὺς εἰρήνης;  
である 王である 平安の  
[G1510](#) [G0935](#) [G1515](#)

それに対して、アブラハムは彼にすべての物の十分の一を分け与えたのである。その名の意味は、第一に義の王、次にまたサレムの王、すなわち平和の王である。

- 3 ἀπάτωρ, ἀμήτωρ, ἀγενεαλόγητος; μήτε ἀρχὴν ἡμερῶν, μήτε ζωῆς τέλος  
父なく 母なく 系図なく ~ない 初めが 日々の ~ない 命の 終わりも  
[G0540](#) [G0282](#) [G0035](#) [G3383](#) [G0746](#) [G2250](#) [G3383](#) [G2222](#) [G5056](#)
- ἔχων; ἀφωμοιωμένος δὲ τῷ Υἱῷ τοῦ Θεοῦ, μένει ἱερεὺς εἰς  
持たない 似せられている しかし その 御子に その 神の とどまる 祭司として ~へ  
[G2192](#) [G0871](#) [G1161](#) [G3588](#) [G5207](#) [G3588](#) [G2316](#) [G3306](#) [G2409](#) [G1519](#)
- τὸ διηνεκές.  
その 永遠に  
[G3588](#) [G1336](#)

彼には父がなく、母がなく、系図がなく、生涯の初めもなく、生命の終わりもなく、神の子のようであって、いつまでも祭司なのである。

- 4 Θεωρεῖτε δὲ πηλίκος οὗτος, ᾧ [καὶ] δεκάτην Ἀβραάμ ἔδωκεν,  
見なさい さて どれほど この方が その方に また 十分の一を アブラハムが 与えた  
[G2334](#) [G1161](#) [G4080](#) [G3778](#) [G3739](#) [G2532](#) [G1181](#) [G0011](#) [G1325](#)
- ἐκ τῶν ἀκροθινίων, ὁ πατριάρχης.  
~から その 戦利品の-中から その 族長が  
[G1537](#) [G3588](#) [G2025](#) [G3588](#) [G3966](#)

そこで、族長のアブラハムが最もよいぶんどり品の十分の一を与えたのだから、この人がどんなにすぐれた人物であったかが、あなたがたにわかるであろう。

- 5 καὶ οἱ μὲν, ἐκ τῶν υἱῶν Λεὺι, τὴν ἱερατεῖαν λαμβάνοντες,  
また その 一方で ~からの その 子らの-中から レビの その 祭司職を 受ける-者たちは  
[G2532](#) [G3588](#) [G3303](#) [G1537](#) [G3588](#) [G5207](#) [G3017](#) [G3588](#) [G2405](#) [G2983](#)
- ἐντολὴν ἔχουσιν ἀποδεκατοῦν τὸν λαὸν, κατὰ τὸν νόμον, τοῦτ'  
戒めを 持っている 十分の-一を-取る その 民から ~に-従い その 律法に すなわち  
[G1785](#) [G2192](#) [G0586](#) [G3588](#) [G2992](#) [G2596](#) [G3588](#) [G3551](#) [G3778](#)
- ἔστιν, τοὺς ἀδελφοὺς αὐτῶν, καίπερ ἐξεληλυθότας ἐκ τῆς ὀσφύος  
すなわち その 兄弟たちから 彼らの たとえ 出てきた-者であっても ~から その 腰から  
[G1510](#) [G3588](#) [G0080](#) [G0846](#) [G2539](#) [G1831](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3751](#)

Ἀβραάμ.

アブラハムの

[G0011](#)

さて、レビの子のうちで祭司の務をしている者たちは、兄弟である民から、同じくアブラハムの子孫であるにもかかわらず、十分の一を取るように、律法によって命じられている。

- 6 ὁ δὲ μὴ γενεαλογούμενος ἐξ αὐτῶν, δεδεκάτωκεν  
その しかし ~ない 系図が-ない-者が ~からの 彼らの-中からの 十分の-一を-取った  
[G3588](#) [G1161](#) [G3361](#) [G1075](#) [G1537](#) [G0846](#) [G1183](#)
- Ἀβραάμ; καὶ τὸν ἔχοντα τὰς ἐπαγγελίας, εὐλόγηκεν.  
アブラハムから そして その 持つ-者を その 約束を 祝福した  
[G0011](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2192](#) [G3588](#) [G1860](#) [G2127](#)

ところが、彼らの血統に属さないこの人が、アブラハムから十分の一を受けとり、約束を受けている者を祝福したのである。

- 7 χωρὶς δὲ πάσης ἀντιλογίας, τὸ ἔλαττον ὑπὸ τοῦ  
~なしに しかし すべての 反論なく その 劣る-者が ~に-よって その  
[G5565](#) [G1161](#) [G3956](#) [G0485](#) [G3588](#) [G1640](#) [G5259](#) [G3588](#)
- κρείττονος εὐλογεῖται.  
優れた-者に-よって 祝福される  
[G2909](#) [G2127](#)

言うまでもなく、小なる者が大なる者から祝福を受けるのである。

- 8 καὶ ὧδε μὲν, δεκάτας, ἀποθνήσκοντες ἄνθρωποι, λαμβάνουσιν; ἐκεῖ  
また ここでは 一方で 十分の-一を 死ぬべき 人々が 受ける かしこでは  
[G2532](#) [G5602](#) [G3303](#) [G1181](#) [G0599](#) [G0444](#) [G2983](#) [G1563](#)
- δὲ, μαρτυρούμενος ὅτι ζῆ;  
しかし 証されている すなわち 生きていると  
[G1161](#) [G3140](#) [G3754](#) [G2198](#)

その上、一方では死ぬべき人間が、十分の一を受けているが、他方では「彼は生きている者」とあかしされた人が、それを受けている。

- 9 καὶ, ὡς ἔπος εἰπεῖν: δι' Ἀβραάμ καὶ, Λεὺι, ὁ  
また ~のように いわば 言えば ~を-通して アブラハムを-通して また レビも その  
[G2532](#) [G5613](#) [G2031](#) [G3004](#) [G1223](#) [G0011](#) [G2532](#) [G3017](#) [G3588](#)
- δεκάτας λαμβάνων, δεδεκάτῳται.  
十分の-一を 受ける-者が 十分の-一を-納めた  
[G1181](#) [G2983](#) [G1183](#)

そこで、十分の一を受けるべきレビでさえも、アブラハムを通じて十分の一を納めた、と言える。

10 ἔτι γὰρ ἐν τῇ ὀσφύϊ τοῦ πατρὸς ἦν, ὅτε συνήντησεν  
まだ なぜなら ~の-中に その 腰の-中に その 父の いた ~とき 出迎えた  
[G12089](#) [G1063](#) [G1722](#) [G3588](#) [G3751](#) [G3588](#) [G3962](#) [G1510](#) [G3753](#) [G4876](#)

αὐτῷ Μελχισέδεκ.  
彼に メルキゼデクが  
[G0846](#) [G3198](#)

なぜなら、メルキゼデクがアブラハムを迎えた時には、レビはまだこの父祖の腰の中にいたからである。

11 Εἰ μὲν οὖν, τελείωσις διὰ τῆς Λευιτικῆς ἱερωσύνης ἦν,  
もし もし それゆえに 完全さが ~を-通して その レビ的な 祭司職を-通して あったなら  
[G1487](#) [G3303](#) [G3767](#) [G5050](#) [G1223](#) [G3588](#) [G3020](#) [G2420](#) [G1510](#)

ὁ λαὸς γὰρ ἐπ’ αὐτῆς νενομοθέτηται, τίς ἔτι  
その 民は なぜなら ~の-上に それの-上に 律法を-受けた 何の さらに  
[G3588](#) [G2992](#) [G1063](#) [G1909](#) [G0846](#) [G3549](#) [G5101](#) [G2089](#)

χρεία, κατὰ τὴν τάξιν Μελχισέδεκ, ἕτερον ἀνίστασθαι ἱερέα, καὶ  
必要が-あるだろうか ~に-従い その 位に メルキゼデクの 別の 立つ 祭司が また  
[G5532](#) [G2596](#) [G3588](#) [G5010](#) [G3198](#) [G2087](#) [G0450](#) [G2409](#) [G2532](#)

οὐ κατὰ τὴν τάξιν Ἀαρὼν λέγεσθαι?  
~ない ~に-従う その 位に アロンの 呈べられないのか  
[G3756](#) [G2596](#) [G3588](#) [G5010](#) [G0002](#) [G3004](#)

もし全うされることがレビ系の祭司制によって可能であつたら、民は祭司制の下に律法を与えられたのであるが、なんの必要があつて、なお、「アロンに等しい」と呼ばれない、別な「メルキゼデクに等しい」祭司が立てられるのであるか。

12 μετατιθεμένης γὰρ τῆς ἱερωσύνης, ἐξ ἀνάγκης καὶ, νόμου μετάθεσις  
変わるなら なぜなら その 祭司職が ~から 必然的に また 律法の 変更が  
[G3346](#) [G1063](#) [G3588](#) [G2420](#) [G1537](#) [G0318](#) [G2532](#) [G3551](#) [G3331](#)

γίνεται.  
起こる  
[G1096](#)

祭司制に変更があれば、律法にも必ず変更があるはずである。

13 ἐφ’ ὃν γὰρ λέγεται ταῦτα, φυλῆς ἐτέρας  
~について その方について なぜなら 言われている これらの-ことは 部族の 別の  
[G1909](#) [G3739](#) [G1063](#) [G3004](#) [G3778](#) [G5443](#) [G2087](#)

μετέσχεν, ἀφ’ ἧς οὐδείς προσέσχεν τῷ θουσιαστηρίῳ.  
属していた ~からの それからの 誰も 仕えなかった その 祭壇に  
[G3348](#) [G0575](#) [G3739](#) [G3762](#) [G4337](#) [G3588](#) [G2379](#)

さて、これらのことは、いまだかつて祭壇に奉仕したことの無い、他の部族に関して言われているのである。

14 πρόδηλον γὰρ, ὅτι ἐξ Ἰούδα ἀνατέταλκεν ὁ Κύριος ἡμῶν,  
明らかである なぜなら すなわち ~から ユダから 出た その 主は 私たちの  
[G4271](#) [G1063](#) [G3754](#) [G1537](#) [G2448](#) [G0393](#) [G3588](#) [G2962](#) [G1473](#)

εἰς ἣν φυλὴν, περὶ ἱερέων, οὐδὲν Μωϋσῆς ἐλάλησεν.  
~について その 部族について ~について 祭司について 何も モーセは 語らなかった  
[G1519](#) [G3739](#) [G5443](#) [G4012](#) [G2409](#) [G3762](#) [G3475](#) [G2980](#)

というのは、わたしたちの主がユダ族の中から出られたことは、明らかであるが、モーセは、この部族について、祭司に関することでは、ひとことも言っていない。

15 Καὶ περισσότερον ἔτι κατάδηλόν ἐστιν, εἰ κατὰ τὴν ὁμοιότητα  
 そして いっそう さらに 明らかである である もし ~に-従い その 似た-者として  
[G2532](#) [G4053](#) [G2089](#) [G2612](#) [G1510](#) [G1487](#) [G2596](#) [G3588](#) [G3665](#)

Μελχισέδεκ, ἀνίσταται ἱερεὺς ἕτερος,  
 メルキゼデクに 立つ 祭司が 別の  
[G3198](#) [G0450](#) [G2409](#) [G2087](#)

そしてこの事は、メルキゼデクと同様な、ほかの祭司が立てられたことによって、ますます明白になる。

16 ὃς οὐ κατὰ νόμον ἐντολῆς σαρκίνης, γέγονεν, ἀλλὰ κατὰ  
 その方は ~ない ~に-従う 律法に 戒めの 肉的な なったのでは-なく むしろ ~に-従う  
[G3739](#) [G3756](#) [G2596](#) [G3551](#) [G1785](#) [G4560](#) [G1096](#) [G0235](#) [G2596](#)

δύναμιν ζωῆς ἀκαταλύτου.  
 力に 命の 滅びない  
[G1411](#) [G2222](#) [G0179](#)

彼は、肉につける戒めの律法によらないで、朽ちることのないいのちの力によって立てられたのである。

17 μαρτυρεῖται γὰρ, ὅτι Σὺ ἱερεὺς εἰς τὸν αἰῶνα, κατὰ τὴν  
 証されている なぜなら すなわち あなたは 祭司である ~へ その 永遠に ~に-従い その  
[G3140](#) [G1063](#) [G3754](#) [G4771](#) [G2409](#) [G1519](#) [G3588](#) [G0165](#) [G2596](#) [G3588](#)

τάξιν Μελχισέδεκ.  
 位に メルキゼデクの  
[G5010](#) [G3198](#)

それについては、聖書に「あなたこそは、永遠に、メルキゼデクに等しい祭司である」とあかしされている。

18 ἀθέτησις μὲν γὰρ γίνεται προαγωγῆς ἐντολῆς, διὰ τὸ αὐτῆς  
 廃止が 一方で なぜなら 起こる 先の 戒めの ~の-ゆえに その それの  
[G0115](#) [G3303](#) [G1063](#) [G1096](#) [G4254](#) [G1785](#) [G1223](#) [G3588](#) [G0846](#)

ἀσθενές, καὶ ἀνωφελές --  
 弱さと また 無益さの  
[G0772](#) [G2532](#) [G0512](#)

このようにして、一方では、前の戒めが弱くかつ無益であったために無効になると共に、

19 οὐδὲν γὰρ ἐτελείωσεν ὁ νόμος ἐπεισαγωγῆ δὲ κρείττονος ἐλπίδος,  
 何も なぜなら 完全にしなかった その 律法は 導入しかし しかし より-良い 希望の  
[G3762](#) [G1063](#) [G5048](#) [G3588](#) [G3551](#) [G1898](#) [G1161](#) [G2909](#) [G1680](#)

δι' ἧς ἐγγίζομεν τῷ Θεῷ.  
 ~を-通して それを-通して 近づく その 神に  
[G1223](#) [G3739](#) [G1448](#) [G3588](#) [G2316](#)

(律法は、何事をも全うし得なかったからである)、他方では、さらにすぐれた望みが現れてきて、わたしたちを神に近づかせるのである。

20 Καὶ καθ' ὅσον οὐ χωρὶς ὀρκωμοσίας, οἱ μὲν γὰρ  
 そして ~に-応じて それだけ ~ない ~なしに 誓いなしに-ではない その 一方で なぜなら  
[G2532](#) [G2596](#) [G3745](#) [G3756](#) [G5565](#) [G3728](#) [G3588](#) [G3303](#) [G1063](#)

χωρὶς ὀρκωμοσίας, εἰσὶν ἱερεῖς γεγονότες,  
 ~なしに 誓いなしに である 祭司となった-者たちは なった  
[G5565](#) [G3728](#) [G1510](#) [G2409](#) [G1096](#)

その上に、このことは誓いをもってなされた。人々は、誓いをしないで祭司とされるのであるが、

- 21 ὁ δὲ μετὰ ὀρκωμοσίας, διὰ τοῦ λέγοντος,  
 その方は しかし ~を-もって 誓いを-もって ~を-通して その 言われた-方を-通して  
[G3588](#) [G1161](#) [G3326](#) [G3728](#) [G1223](#) [G3588](#) [G3004](#)
- πρὸς αὐτόν Ἰησοῦς Κύριος, καὶ οὐ μεταμεληθήσεται, Σὺ  
 ~に-対して その方に 誓った 主が そして ~ない 悔いない あなたは  
[G4314](#) [G0846](#) [G3660](#) [G2962](#) [G2532](#) [G3756](#) [G3338](#) [G4771](#)
- ἱερεὺς εἰς τὸν αἰῶνα.  
 祭司である ~へ その 永遠に  
[G2409](#) [G1519](#) [G3588](#) [G0165](#)

この人の場合は、次のような誓いをもってされたのである。すなわち、彼について、こう言われている、「主は誓われたが、心を変えることをされなかった。あなたこそは、永遠に祭司である」。

- 22 κατὰ τοσοῦτο καὶ κρείττονος διαθήκης, γέγονεν ἔγγυος Ἰησοῦς.  
 ~に-応じて それだけ また より-良い 契約の なった 保証人と イエスは  
[G2596](#) [G5118](#) [G2532](#) [G2909](#) [G1242](#) [G1096](#) [G1450](#) [G2424](#)

このようにして、イエスは更にすぐれた契約の保証となられたのである。

- 23 Καὶ οἱ μὲν πλείονές εἰσιν γεγονότες ἱερεῖς, διὰ τὸ θανάτῳ  
 また その 一方で 多くの-者が である なった 祭司と ~の-ゆえに その 死に-よって  
[G2532](#) [G3588](#) [G3303](#) [G4119](#) [G1510](#) [G1096](#) [G2409](#) [G1223](#) [G3588](#) [G2288](#)
- κωλύεσθαι παραμένειν;  
 妨げられた 留まることが  
[G2967](#) [G3887](#)

かつ、死ということがあるために、務を続けることができないので、多くの人々が祭司に立てられるのである。

- 24 ὁ δὲ διὰ τὸ μένειν αὐτόν εἰς τὸν αἰῶνα, ἀπαράβατον  
 その方は しかし ~の-ゆえに その とどまる その方が ~へ その 永遠に 変わらない  
[G3588](#) [G1161](#) [G1223](#) [G3588](#) [G3306](#) [G0846](#) [G1519](#) [G3588](#) [G0165](#) [G0531](#)
- ἔχει τὴν ἱερωσύνην,  
 持っている その 祭司職を  
[G2192](#) [G3588](#) [G2420](#)

しかし彼は、永遠にいますかたであるので、変らない祭司の務を持ちつづけておられるのである。

- 25 ὅθεν καὶ, σώζειν εἰς τὸ παντελὲς δύναται, τοὺς προσερχομένους,  
 それゆえに また 救うことが ~へ その 完全に できる その 近づく-者たちを  
[G3606](#) [G2532](#) [G4982](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3838](#) [G1410](#) [G3588](#) [G4334](#)
- δι' αὐτοῦ τῷ Θεῷ, πάντοτε ζῶν εἰς τὸ  
 ~を-通して その方を-通して その 神に いつも 生きている ~のために その  
[G1223](#) [G0846](#) [G3588](#) [G2316](#) [G3842](#) [G2198](#) [G1519](#) [G3588](#)
- ἐντυγχάνειν ὑπὲρ αὐτῶν.  
 とりなすために ~の-ために 彼らのために  
[G1793](#) [G5228](#) [G0846](#)

そこでまた、彼は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、いつも救うことができるのである。

26 Τοιοῦτος γὰρ ἡμῖν καὶ ἔπρεπεν ἀρχιερεὺς, ὅσιος, ἄκακος,  
 このような なぜなら 私たちに また ふさわしかつた 大祭司が 聖く 悪意なく  
[G5108](#) [G1063](#) [G1473](#) [G2532](#) [G4241](#) [G0749](#) [G3741](#) [G0172](#)

ἀμίαντος, κεχωρισμένος ἀπὸ τῶν ἀμαρτωλῶν, καὶ ὑψηλότερος τῶν οὐρανῶν  
 汚れなく 分けられた 〜から その 罪人たちから そして 高くなつた その 天よりも  
[G0283](#) [G5563](#) [G0575](#) [G3588](#) [G0268](#) [G2532](#) [G5308](#) [G3588](#) [G3772](#)

γενόμενος;  
 なつた  
[G1096](#)

このように、聖にして、悪も汚れもなく、罪人とは区別され、かつ、もろもろの天よりも高くされている大祭司こそ、わたしたちにとってふさわしいかたである。

27 ὃς οὐκ ἔχει καθ' ἡμέραν ἀνάγκην, ὥσπερ οἱ ἀρχιερεῖς,  
 その方は 〜ない 持たない 〜に 日々 必要が 〜のように その 大祭司たちのように  
[G3739](#) [G3756](#) [G2192](#) [G2596](#) [G2250](#) [G0318](#) [G5618](#) [G3588](#) [G0749](#)

πρότερον ὑπὲρ τῶν ἰδίων ἀμαρτιῶν, θυσίας ἀναφέρειν, ἔπειτα τῶν  
 先に 〜の-ために その 自分の 罪のために いけにえを ささげるこの 次に その  
[G4386](#) [G5228](#) [G3588](#) [G2398](#) [G0266](#) [G2378](#) [G0399](#) [G1899](#) [G3588](#)

τοῦ λαοῦ; τοῦτο γὰρ ἐποίησεν ἐφάπαξ, ἑαυτὸν ἀνενέγκας.  
 その 民の-ために これを なぜなら 行つた 一度で 御自身を ささげて  
[G3588](#) [G2992](#) [G3778](#) [G1063](#) [G4160](#) [G2178](#) [G1438](#) [G0399](#)

彼は、ほかの大祭司のように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために、日々、いけにえをささげる必要はない。なぜなら、自分をささげて、一度だけ、それをされたからである。

28 ὁ νόμος γὰρ ἀνθρώπους καθίστησιν ἀρχιερεῖς, ἔχοντας ἀσθένειαν; ὁ  
 その 律法は なぜなら 人々を 立てる 大祭司として 持つ-者を 弱さを その  
[G3588](#) [G3551](#) [G1063](#) [G0444](#) [G2525](#) [G0749](#) [G2192](#) [G0769](#) [G3588](#)

λόγος δὲ τῆς ὀρκωμοσίας, τῆς μετὰ τὸν νόμον, Υἱὸν εἰς τὸν  
 言葉は しかし その 誓いの その 〜の-後の その 律法の-後の 御子を 〜へ その  
[G3056](#) [G1161](#) [G3588](#) [G3728](#) [G3588](#) [G3326](#) [G3588](#) [G3551](#) [G5207](#) [G1519](#) [G3588](#)

αἰῶνα, τετελειωμένον.  
 永遠に 完全な-者として  
[G0165](#) [G5048](#)

律法は、弱さを身に負う人間を立てて大祭司とするが、律法の後に来た誓いの御言は、永遠に全うされた御子を立てて、大祭司としたのである。